



三滝だより

NO. 269

2024年1月15日発行

冬の空からの贈り物！！ ～ 雪の性質を知ろう ～

新年あけましておめでとうございます！ 新しい年が始まりました。

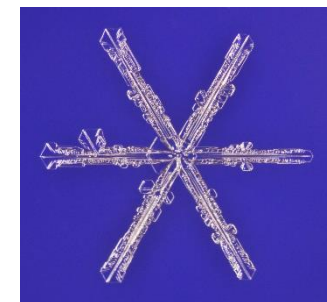
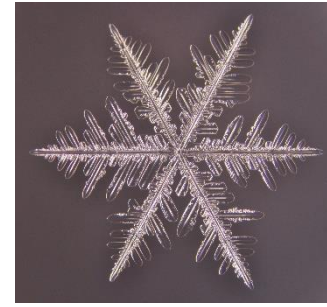
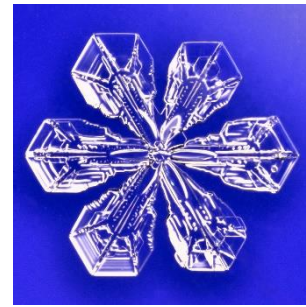
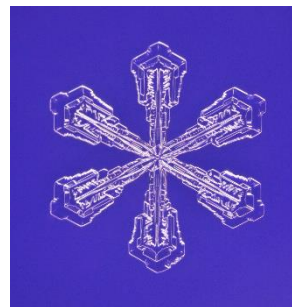
皆さんにとって良い一年になりますようお祈りいたします。

さて、いよいよ本格的な冬の到来です。三滝の山にも木枯らしが吹いています。冬といえば、やっぱり「雪」ですよね。一面を白く塗り替えた風景を見ると、ちょっと胸がわくわくしますよね。皆さんは、改めて「雪」をじっくり見たことはありますか？

「雪」を広辞苑で調べてみると、「水蒸気が空中で固まって結晶となって降る白いもの」と書かれています。「雪」の結晶は、雲の中で成長し、重くなると「雪片」となり落ち始めます。「雪」にはいくつかの呼び名があります。気温の低いところで作られる「粉雪」、気温がだんだん高くなると溶けはじめ湿った「湿雪」となります。水を含んだ「雪」はくっつきやすくなり「ポタン雪」となります。「ポタン雪」が

落下し続けると「みぞれ」に変わり、やがて全部溶ければ最後は「雨」となります。

皆さんは、「雪」の結晶を見たことがありますか？「雪」の結晶は、どんな形をしているのでしょうか。ちょっとのぞいてみましょう。



出展：日本雪氷学会 著作者：油川英明 氏

北海道など寒さが厳しい場所では、地上付近で大変小さな氷の結晶が作られ、ダイヤモンド・ダストが降る所もあります。一度見てみたいものですね。この冬、「雪」が降ったら、虫メガネをもって外に出て、空から舞い降りてくる新鮮な「雪片」をのぞいてみてください。素敵な結晶を見ることができたらいいですね。

はるさき さ あお はな 春先に咲くちいさな青い花

オオイヌノフグリ

ミタッキーだよ



さむ ひ つつ がつけじゆん じょうじゆん ねん
寒い日が続きますね。1月下旬から2月上旬は、1年
でいちばん寒い時期です。かぜなどひかないよう、気をつけ
てくださいね。

りっしゆん こよみ うえ はる はし ひ ことし
もうすぐ立春で、暦の上では春が始まる日です。今年は2月4日(日)
になります。もう1月もすれば、いろんなところに春を感じられる花が咲
き始めます。そのうちの1つ、オオイヌノフグリを紹介し
ます。

みなさんが、春先に道を歩いていると、ちいさな青い花がたくさん咲い
ているのを見かけたことがあると思います。それがオオイヌノフグリです。
もともとユーラシア、アフリカの原産ですが、明治のなかごろに、日本にも
咲いていることが分かりました。

この花は、ほかの植物が大きくなる前の、まだ寒いうちから咲き始めま
す。どうしてでしょうか？ オオイヌノフグリは、あまり背が高くなりませ
ん。ほかの大きな植物があると、自分の成長に必要な太陽の光をたくさ
ん受けることができません。だから、こうして早く咲くことで、ほかの植物
との競争を避けながら、種をつくって子孫を残そうとしているのです。こ
の花を見つけたら、よく観察してくださいね。とってもちいさくて、青いき
れいな花に感動しますよ。



オオイヌノフグリが咲いている様子 (撮影地：広島市三滝少年自然の家)

- 花には、薄い青色に濃い青の筋が入っています。
- 日が当たっている時だけ開き、夕方には閉じてしまいます。
- 花は直径0.8～1センチ。上部の葉の付け根の部分から、長さ1～2センチの花柄をだして、ルリ色の花を1個つけます。
- 果実が熟すと、種を覆う果皮が裂けて種が飛びだします。
(右イラストは、果皮のなかに2つの種が入って、ふくらんでいる様子です。)



(参考文献) 山と溪谷社、野に咲く花、2000、p146

川崎市、オオイヌノフグリ、川崎市総合教育センター

<https://kawasaki-edu.jp/index.cfm/19,1678,70,201,html> (参照 2023-12-09)

公益財団法人広島市文化財団

広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター

〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目7番地の20

TEL082-238-6301 FAX082-238-6302

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

みたき

